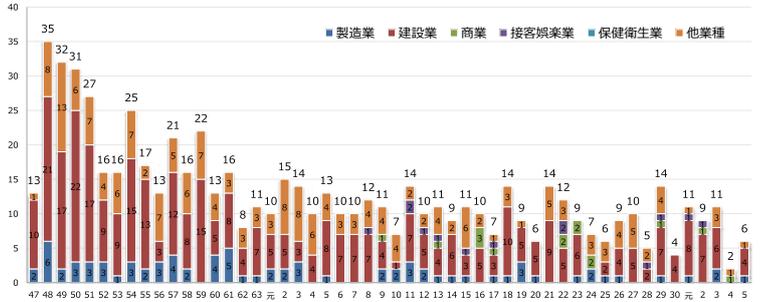


1 沖縄県内の労働災害発生状況 (死亡災害発生状況の推移)

別添

死亡災害

- ・死亡災害は、前年と比較して4名増となった。
- ・令和4年は建設業の死亡災害が0件であったが、令和5年は4件となった。

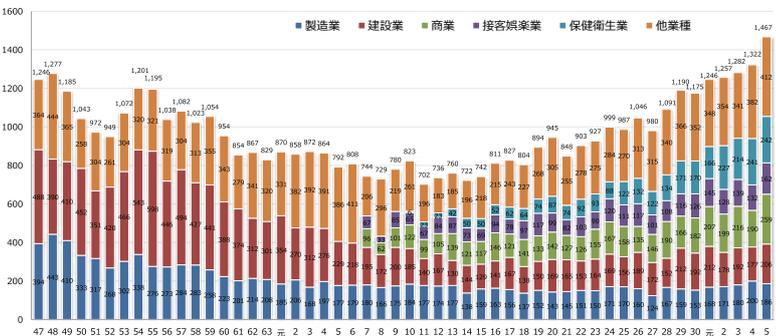


(注) 1 死亡者数は死亡災害報告による。
 2 平成6年以前について、商業及び接客娯楽業は他業種に含まれる。
 3 平成9年以前について、保健衛生業は他業種に含まれる。

1 沖縄県内の労働災害発生状況 (休業4日以上の災害発生状況の推移)

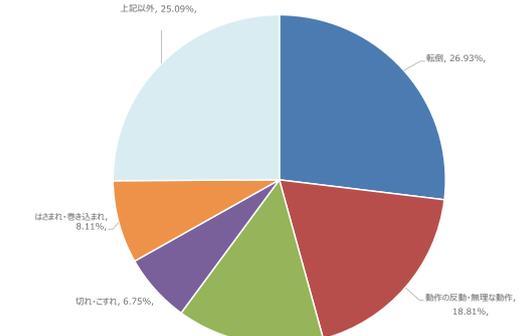
休業4日以上の死傷災害

- ・休業4日以上の労働災害は、昭和47年以降で過去最多となった。



(注) 1 休業4日以上の死者数は労働者死傷病報告による。
 2 平成6年以前について、商業及び接客娯楽業は他業種に含まれる。
 3 平成9年以前について、保健衛生業は他業種に含まれる。

1 沖縄県内の労働災害発生状況 (休業4日以上の災害発生状況の推移)



※死者数は労働者死傷病報告による

1 沖縄県内の労働災害発生状況 (県内における高齢労働者等の労働災害発生状況の推移: 休業4日以上・全産業)



※折線グラフは死者数 (休業4日以上) 全年齢 (全体) に占める年齢別割合を示す。
 ※死者数: 労働者死傷病報告による

・詳細については、沖縄労働局のホームページをご参照ください。
 なお、担当部署は、沖縄労働局労働基準部健康安全課 (電話番号 098-868-4402) です。

第97回 全国安全週間

期間 令和6年7月1日(月)～7日(日)

準備期間: 令和6年6月1日(土)～30日(日)

スローガン **危険に気付くあなたの目**
そして摘み取る危険の芽
みんなで築く職場の安全

今年で97回目を迎える全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という基本理念の下、労働災害を防止するために産業界での自主的な活動の推進と、職場での安全に対する意識を高め、安全を維持する活動の定着を目的として実施されてきました。

これまで、事業場では、労働者が協賛して労働災害防止対策が展開されてきました。この努力により労働災害は長期的には減少しておりますが、令和5年の労働災害については、死亡災害は前年を下回る見込みであるものの、休業4日以上の死者数は前年を上回る見込みであり、増加傾向に止まりかねない状況となっております。

特に、転倒や転落といった労働者の作業行動に起因する死者数が増加傾向にあり、死亡災害については墮落・転落などによる災害が依然として後を絶たない状況にあります。

また、労働災害を少しでも減らし、労働者一人一人が安全に働くことができる職場環境を築くためには、令和5年3月に策定された第14次労働災害防止計画に基づく施策を順次推進することが必要であり、計画年度2年目となる令和6年度においても、労使一丸となった取組が求められます。

そのため、令和6年度は、「危険に気付くあなたの目 そして摘み取る危険の芽 みんなで築く職場の安全」のスローガンの下、全国安全週間を実施することとしました。

主催 厚生労働省、中央労働災害防止協会
 協賛 建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会

※裏面の「令和6年度全国安全週間実施概要について」もご覧ください。